

定量法 本品約 0.5 g を精密に量り、ビタミン A 定量法の第 2 法により試験を行う。

貯法

保存条件 遮光して、ほとんど全満するか、又は空気を「窒素」で置換して保存する。

容器 気密容器。

キキョウ

Platycodon Root

PLATYCODI RADIX

桔梗根

本品はキキョウ *Platycodon grandiflorum* A. De Candolle (*Campanulaceae*) の根である。

性状 本品は不規則なやや細長い紡錘形～円すい形を呈し、しばしば分枝し、外面は灰褐色、淡褐色又は白色である。主根は長さ 10～15 cm、径 1～3 cm で、上端に茎を除いた跡がくぼみとなって残り、その付近に細かい横じわと縦みぞがあり、多少くびれている。根頭部を除く根の大部分にはあらひ縦じわ及び横みぞがあり、また皮目よりの横線がある。質は堅いが折りやすい。折面は繊維性でなく、しばしば大きなすき間がある。横切面をルーベ視するとき、形成層の付近はしばしば褐色を帯びる。皮部の厚さは本部の径よりやや薄く、ほとんど白色で、ところどころにすき間があり、木部は白色～淡褐色を呈し、その組織は皮部よりもやや密である。

本品はわずかににおいがあり、味は初めなく、後にえぐくて苦い。

確認試験

(1) 本品の粉末 0.5 g に水 10 mL を加え、煮沸した後、放冷し、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品の粉末 0.2 g に無水酢酸 2 mL を加えて水浴上で 2 分間加温した後、ろ過する。ろ液 1 mL に硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈し、上層は青緑色～緑色を呈する。

灰分 4.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 25.0 % 以上。

キキョウ末

Powdered Platycodon Root

PLATYCODI RADIX PULVERATA

桔梗根末

本品は「キキョウ」を粉末としたものである。

性状 本品は淡灰黄色～淡灰褐色を呈し、わずかににおいがあり、味は初めなく、後にえぐくて苦い。

本品を鏡検するとき、多くの無色の柔細胞の破片、網紋及び階紋道管の破片、帥管の破片、乳管の破片を認め、コルク組織の破片を認めることがある。でんぷん粒は、通例、認められないが、極めてまれに単粒を認めることがある。

確認試験

(1) 本品 0.5 g に水 10 mL を加え、煮沸した後、放冷し、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品 0.2 g に無水酢酸 2 mL を加えて水浴上で 2 分間加温した後、ろ過する。ろ液 1 mL に硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈し、上層は青緑色～緑色を呈する。

純度試験 異物 本品を鏡検するとき、繊維、石細胞及びその他の異物を認めない。

灰分 4.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 25.0 % 以上。

キキョウ流エキス

Platycodon Fluidextract

製法 本品は「キキョウ」の粗末をとり、25 vol% エタノールを用い、流エキス剤の製法により製する。ただし、25 vol% エタノールの代わりに「エタノール」及び「精製水」適量を用いて製することができる。

性状 本品は赤褐色の液で、水にわずかに混濁して混和し、味は初め緩和で、後にえぐくて苦い。

確認試験

(1) 本品 0.5 mL に水 10 mL を加え、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品 1 滴を無水酢酸 2 mL に溶かし、硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈する。

純度試験 でんぷん 本品 1 mL に水 4 mL を混和し、これに希ヨウ素試液 1 滴を加えるとき、液は紫色又は青色を呈しない。

成分含量 本品 5 mL を正確に質量既知のビーカーにとり、水浴上で蒸発乾固し、105 °C で 5 時間乾燥するとき、残留物の量は 0.50 g 以上である。

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

キササゲ

Catalpa Fruit

CATALPAE FRUCTUS

本品はキササゲ *Catalpa ovata* G. Don 又は *Catalpa bungei* C. A. Meyer (*Bignoniaceae*) の果実である。

性状 本品は細長い棒状を呈し、長さ 30～40 cm、径約 0.5 cm である。外面は暗褐色で、内部には多数の種子がある。種子は偏平又はやや半管状を呈し、長さ約 3 cm、幅約 0.3 cm、灰褐色で、その両端は毛状を呈し、毛状部は長さ各約 1 cm である。本品の果皮は薄く、折れやすい。

本品はほとんどにおいがなく、味はわずかに渋い。

確認試験 本品の粉末 1.0 g に水 20 mL を加え、水浴上で 5 分間加温し、直ちにろ過する。ろ液を分液漏斗に入れ、1-ブタノール 20 mL ずつで 2 回抽出する。全抽出液を合わせ、水浴上で 1-ブタノールを留去し、残留物をメタノール 1 mL に溶かし、試料溶液とする。別にパラオキシ安息香酸 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シ